

腎移植センターが4月1日、昭和大学病院に開設された。同病院では、腎臓移植が外科治療の一つとして、元的かつ包括的な医療を古くから行ってきた。長年の経験と実績がセンターとして結実し、より専門的な診療へと歩を進めることとなつた。

同センターの利点の一つは腎移植を考慮する時期から手術・移植後の管理まで、一元的かつ包括的な医療を提供できることである。またセンタースタッフは移植外科医、腎臓内科医、泌尿器科医および移植コーディネーターから構成され、

あらゆる状況へ対応できる体制を整えている。今後は、他の領域と協力しつつ、小児への腎不全治療や1型糖尿病性腎不全にかかる腎移植といった、さらに専門化した分野へ踏み込んでいく役割も担つていく。